

2021年度  
臨床研修プログラム  
(歯科医師)



兵庫医科大学病院

# 単独型歯科医師卒後臨床研修プログラム

## 1. 臨床研修プログラムの名称

兵庫医科大学病院単独型臨床研修プログラム

## 2. 研修管理委員会の名称

兵庫医科大学病院臨床研修管理委員会

## 3. 研修歯科医定員

単独型臨床研修プログラム 3名

## 4. 研修期間

原則として1年間の研修とし、研修修了とともに研修修了証が授与される。  
大学院は2年目より進学できる。

## 5. 参加施設の概要

### 単独型臨床研修施設

- 1) 施設名：兵庫医科大学病院
- 2) 所在地：兵庫県西宮市武庫川町1番1号
- 3) 臨床研修施設長：病院長 阪上雅史
- 4) 研修プログラム責任者・統括責任者：病院長 阪上雅史
- 5) プログラム責任者：主任教授 岸本裕充  
(歯科口腔外科診療部長、日本口腔外科学会専門医・指導医、ICD協議会認定インフェクションコントロールドクター、日本口腔感染症学会認定医、日本口腔インプラント学会暫定指導医、  
日本がん治療認定医機構暫定教育医(歯科口腔外科))
- 6) 副プログラム責任者：准教授 野口一馬  
(准教授 日本口腔外科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医(歯科口腔外科))
- 7) 事務部門の責任者：病院事務部長 入江猛

## **臨床指導歯科医**

### **口腔外科**

岸本 裕充	主任教授	日本口腔外科学会専門医・指導医 日本口腔感染症学会認定医 日本口腔インプラント学会 専門医・指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医（歯科口腔外科）
野口 一馬	准教授	日本口腔外科学会 専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・暫定教育医（歯科口腔外科） 日本口腔感染症学会 認定医 日本口腔腫瘍学会 口腔がん治療認定医・暫定教育医
高岡 一樹	准教授	日本口腔外科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科） 日本口腔インプラント学会 専門医・指導医 日本口腔科学会 認定医 口腔顔面神経機能学会 口唇・舌感覚異常判定認定医
森寺 邦康	助教	日本口腔外科学会専門医・指導医 日本口腔感染症学会認定医 日本口腔科学会 認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医（歯科口腔外科）
吉川 恭平	助教	日本口腔外科学会専門医 日本口腔科学会 認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）

### **歯科**

中村 祐己	助教	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士 日本口腔科学会 認定医
米田 直道	助教	日本歯科保存学会認定医
尾崎 公子	非常勤 医師	日本小児歯科学会専門医

## **臨床研修協力施設**

施設名：大阪市西淀川区 博悠会 名取病院

外来研修中の数日を博悠会名取病院で訪問歯科診療と高齢者歯科医療、老人保健・介護保険医療制度の研修を行う。

## 6. 研修目的

患者の立場に立った医療を実践し、人間性豊かな、優れた医療人の育成をはかる。基本的な歯科医療技術および知識を習得するとともに、高度で先進的な医療の実践を目指す。さらに健康増進活動に積極的に参加し、保健・福祉を推進し、地域の医療機関との円滑な連携を図ることができる。

## 7. 研修目標

歯科医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、歯科医学・歯科医療の社会的ニーズを認識しつつ、歯科医師に求められる疾患や病態に対し適切に対応できるよう臨床指導歯科医の指導のもと、基本的な診察能力(態度・技術・知識)を身につける。また、患者や家族、コ・デンタルスタッフとのコミュニケーションを大切にし、顎口腔領域の異常のみならず全人的な診察能力を身につけることを目標とする。研修歯科医は本院医療人育成研修センター卒業研修室に所属し、本プログラムに沿った研修を行う。研修管理委員会・臨床指導歯科医がプログラムの管理・運営を行い、定期的に研修の進捗状況を確認する。

## 8. 臨床研修スケジュール

### 単独型プログラム

A

4	6	9	12	3	4
合同基礎研修	歯科研修	口腔外科外来研修	病棟研修	総括	

B

合同基礎研修	病棟研修	歯科研修	口腔外科外来研修	総括	
--------	------	------	----------	----	--

C

合同基礎研修	口腔外科外来研修	病棟研修	歯科研修	総括	
--------	----------	------	------	----	--

3ヶ月間、名取病院より病棟研修の受け入れを行う。

外来研修の後半に1週間の当院歯科技工室勤務・名取病院における外来歯科診療を行う。

## 8-1. 合同基礎研修

基礎的な診療行為（態度、技能、知識、判断力等）を理解し、臨床研修プログラムが遂行できるための準備期間とする。

### 合同基礎研修内容：

オリエンテーション（医療人育成研修センター卒業研修室主催）、プログラム発表、プログラム日程表の説明、事務連絡、保険医登録、医療安全管理部主催の講習会への参加、研修開始前 OSCE（研修歯科医の技能・態度の評価）、電子カルテシステム習得のためのオペレーション・トレーニング

### 基本的知識確認のための講義（その1：基礎編）

医療面接・問診の取り方  
カルテの書き方  
保険診療の概要  
紹介状の書き方  
処方箋の書き方  
バイタルサインの観察と評価法  
全身合併症への対応  
使用頻度の高い薬品の基礎知識  
清潔と不潔の概念（清潔野の作り方・手洗い実習）

### 基本的知識確認のための講義（その2：歯科保存学・歯科補綴学編）

齶蝕並びに歯髄炎の検査・診断・治療  
歯周疾患の検査・診断・治療  
歯冠修復・欠損補綴における検査・診断・治療  
歯科疾患に対する予防の概念

### 基本的知識確認のための講義（その3：口腔外科編）

炎症性疾患に対する検査・診断・治療  
外傷患者に対する検査・診断・治療  
顎変形症に対する検査・診断・治療  
先天異常に対する検査・診断・治療  
口腔腫瘍に対する検査・診断・治療  
各種レントゲン撮影法の適応

### 基本的技能習得のための実習

浸麻と伝麻（相互実習）  
抜歯と膿瘍切開（手技の確認・OSCE または手技を問うテスト）

抜髄（抜去歯牙による実習）

根管拡大と根管充填（抜去歯牙による実習・模型実習）

インレー形成・支台歯形成（模型実習）

レントゲン撮影（相互実習）

## 8-2. 外来研修（歯科外来，口腔外科外来研修）

歯科口腔外科外来において所定の要求ケースをこなす。各々の症例は初診医が責任を持って研修医の指導を行うが指導医（初診医）によって治療方針が多少異なることも予想される。研修歯科医は経験がなく、指導医（初診医）が各症例に対して指導するので誤解が生じやすいことが今までの反省としてあげられるので、各研修医には1名ずつのチューターが付き、その指導のフィードバックとフォローを行うようにする。

## 8-3. 病棟研修

歯科口腔外科病棟において手術症例に対する管理を経験しながら、病態の把握と対応に努める。また、手術患者は外来患者に比べて精神的ストレスが強いいため患者や家族を含めたコミュニケーションが取れるようにする。

清潔野の確保・術衣の着用法・各種記録法をマスターし、将来の全人的医療が可能となるよう、動機付けを行う。

## 9. 臨床歯科研修カリキュラム

### (1)医療面接

#### 【一般目標】

患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度、技能を身につける。

#### 【行動目標】

- ①コミュニケーションスキルを習得する。
- ②病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）聴取を正確に行う。
- ③病歴を正確に記載する。
- ④患者の心理・社会背景に考慮する。
- ⑤患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
- ⑥患者の自己決定を尊重する（インフォームドコンセントの構築）。
- ⑦患者のプライバシーを守る。
- ⑧患者の心身におけるQOL(Quality of Life)を配慮する。
- ⑨患者教育と治療への動機付けを行う。

## (2)総合診療計画

### 【一般目標】

効果的で効率のよい歯科治療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身につける。

### 【行動目標】

- ①適切で十分な医療情報を収集する。
- ②基本的な診察・検査を実践する。
- ③基本的な診察・検査所見を把握する。
- ④得られた情報からの確に診断する。
- ⑤適切と思われる治療法および他の選択肢を提示する。
- ⑥十分な説明と患者の自己決定を確認する。
- ⑦一口腔単位の治療計画を作成する。

## (3)予防・治療基本技術

### 【一般目標】

歯科疾患と口腔機能障害を予防・治療・管理するために必要な基本的技術を身につける。

### 【行動目標】

- ①基本的な予防法の手技を実施する。
- ②基本的な治療法の手技を実施する。
- ③医療記録を適切に作成する。
- ④医療記録を適切に管理する。

## (4)応急処置

### 【一般目標】

一般的な歯科疾患における応急処置に対応するために必要な臨床能力を身につける。

### 【行動目標】

- ①疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- ②歯、口腔および顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- ③修復物、補綴装置等の脱離と破損および不適合に対する適切な処置を実践する。

## (5)高頻度治療

### 【一般目標】

一般的な歯科疾患における高頻度遭遇症例に対応するために、必要な臨床能力を身につける。

### 【行動目標】

- ①齲蝕の基本的な治療を実践する。
- ②歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
- ③歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- ④抜歯の基本的な処置を実践する。
- ⑤咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

## (6)医療管理・地域医療

### 【一般目標】

歯科医師としての社会的役割を果たすために、医療管理・地域医療に必要な能力を身につける。

### 【行動目標】

- ①保険診療を実践する。
- ②チーム医療を実践する。
- ③地域医療に参画する。

## 10. 研修歯科医の管理運営体制と研修修了の認定

研修歯科医募集後、選考（試験、面接）を行い、マッチングにて採用決定する。

研修歯科医は臨床研修の心構え、大学病院の機構を学ぶための研修医オリエンテーションに参加する。

研修管理委員会で検討した結果、研修修了と認められない者については病院長から研修の延長を行うよう、理由を付してその旨を文書で交付する。

研修歯科医はこれまで習得した初期臨床研修を基に2年目以降の後期臨床研修を続けることができる。

## 11. 研修歯科医の処遇について

身 分：研修歯科医（常勤職員）

給 与：30 万円（1 年目）

勤務時間：平日 8：30～16：45、第 1・3 土曜日 8：30～12：30

休 日：日曜日、祝日（「成人の日」、「敬老の日」を除く）、  
第 2・第 4・第 5 土曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

休 暇：年次有給休暇 10 日（1 年目）、産前産後休暇

宿日直手当：宿直 10,000 円（1 回）、日直 10,000 円（1 回）

時間外勤務：原則としてなし

研修医居室：あり

宿 舎：なし

社会保険：日本私立学校振興・共済事業団加入（健康保険・年金等）

労働災害保険：加入

雇用保険：加入

健康管理：定期健康診断を実施

医師賠償責任保険：個人加入

自主的な研修活動に関する事項：学会・研究会への参加可

## 必須ケース数と修得ケース数の内訳

### ■ 歯科研修 ■

研修医氏名：

指導医氏名：

研修期間：202( )年( )月( )日 ～ 202( )年( )月( )日

#### 1. 保存修復治療

- |   |            |           |
|---|------------|-----------|
| ① | インレー修復     | 例         |
| ② | レジン充填      | 例         |
| ③ | ガラスイオノマー充填 | 例         |
|   |            | ②+③で15例以上 |

#### 2. 歯内療法

- |   |        |   |   |      |
|---|--------|---|---|------|
| ① | 抜髄処置   | 例 | － | 1例以上 |
| ② | 感染根管処置 | 例 | － | 5例以上 |

#### 3. 歯周治療

- |   |          |   |   |       |
|---|----------|---|---|-------|
| ① | 歯周検査     | 例 | － | 10例以上 |
| ② | ブラッシング指導 | 例 | － | 5例以上  |
| ③ | 咬合調整     | 例 |   |       |
| ④ | 暫間固定     | 例 | － | 3例以上  |
| ⑤ | スケーリング   | 例 | } | 15例以上 |
| ⑥ | SRP      | 例 |   |       |
| ⑦ | P-cur    | 例 |   |       |
| ⑧ | FOP      | 例 |   |       |

#### 4. 歯冠修復治療

- |   |                       |   |         |
|---|-----------------------|---|---------|
| ① | FMC(前装冠・CAD-CAM 冠を含む) | 例 | － 1 例以上 |
| ② | ブリッジ                  | 例 | － 1 例以上 |
| ③ | TEK                   | 例 | － 3 例以上 |
| ④ | 支台築造                  | 例 | － 5 例以上 |

#### 5. 有床義歯治療

- |   |                 |   |         |
|---|-----------------|---|---------|
| ① | 部分床義歯           | 例 | － 2 例以上 |
| ② | 全部床義歯           | 例 | － 2 例以上 |
| ③ | リベース・粘膜調整・義歯修理  | 例 | － 5 例以上 |
| ④ | 線鉤のベンディング       | 例 | － 1 例以上 |
| ⑤ | 顎義歯             | 例 | － 2 例以上 |
| ⑥ | OA, PLP, PAP 装置 | 例 |         |

※OA 1 例・PLP/PAP 1 例

口腔外科研修期間  
( 年 月 ~ 年 月 )

研修医氏名 ( )  
入局年度 ( 年 )

処置・手術名	目標症例数	執刀症例数
抜歯術(全身疾患を含む)	50例	
根肥大・癒着歯抜歯術	10例	
下顎埋伏智歯抜歯術	併せて10例	
上顎埋伏智歯抜歯術		
小帯形成術(頬・口唇・舌)	併せて1例	
下顎隆起・口蓋隆起形成術		
口腔内膿瘍切開術	3例	
歯根端切除術	併せて3例	
歯根嚢胞摘出術		
歯肉・歯槽部腫瘍摘出術		
舌・口唇腫瘍摘出術		
舌・口唇・頬部粘液嚢胞摘出術		
創傷処理(5cm未満)	併せて3例	
顎骨骨折非観血的整復術(顎間固定)		
顎関節脱臼非観血的整復術		
前癌病変切除術(生検を含む)	1例	
粘膜疾患、神経痛など	3例	
	総数	

## 病棟研修ケース(当直症例も含む)

処置・手術名	a:実施	b:助手	c:見学	必要症例数
--------	------	------	------	-------

### 【歯・歯槽外科手術(A-1)】

埋伏智歯抜歯術				b以上5例
歯根端切除術				c以上1例
歯の再植術				b以上1例
萌出困難歯開窓術				c以上1例
口底迷入歯除去術				

### 【補綴前外科処置(A-2)】

小帯形成術(頬・口唇・舌)				b以上1例
骨隆起形成術(下顎隆起・口蓋隆起・上顎結節)				
顎堤形成術・口腔前提拡張術				

### 【口腔インプラント関連手術(A-3)】

インプラント埋入術				b以上1例
インプラント除去術				
上顎洞底挙上術				c以上1例
歯槽骨造成術(GBR法・チタンメッシュ法など)				
歯槽骨延長術				

### 【消炎手術(B-1)】

口腔内膿瘍切開術				b以上3例
口腔外膿瘍切開術				b以上1例
顎骨骨髓炎手術・腐骨除去術				b以上1例
外歯瘻手術				c以上1例
頸部膿瘍切開術				

### 【良性腫瘍・嚢胞性疾患等の手術(B-2)】

歯根嚢胞摘出術				b以上2例
顎骨腫瘍摘出術(含歯性嚢胞)				b以上2例
顎骨腫瘍摘出術(角化性嚢胞性歯原性腫瘍)				
顎骨腫瘍摘出術(エナメル上皮腫)				
歯肉・歯槽部腫瘍摘出術				c以上1例
粘膜腫瘍摘出術(舌・口唇・頬粘膜・口蓋・口底)				

### 【唾液腺関連手術(B-3)】

唾石摘出術				c以上1例
ラヌーラ切開・開窓術				b以上1例
粘液嚢胞摘出術(舌・口唇・頬粘膜)				
舌下腺摘出術				c以上1例
顎下腺摘出術				
唾液腺腫瘍手術				

### 【上顎洞関連手術(B-4)】

口腔上顎洞瘻孔閉鎖術				b以上1例
上顎洞異物除去術				
上顎洞迷入歯除去術				
術後性上顎嚢胞摘出術				
上顎洞根治術				

研修レベルはa>b>cとし、必要症例数に指定している以上の研修に努めること。

処置・手術名	実施	助手	見学	必要症例数
--------	----	----	----	-------

【顎顔面外傷手術(C-1)】

創傷処理				a以上1例
歯槽骨骨折観血的整復術				b以上1例
顎骨骨折非観血的整復術				b以上1例
異物除去術・挿入物除去術				b以上1例
プレート・スクリュー除去術				
下顎骨骨折手術				b以上1例
関節突起骨折手術				

【顎変形症関連手術(C-2)】

インプラントアンカー埋入術				b以上1例
プレート・スクリュー除去術				
LeFort I型骨切り術				b以上1例
下顎枝垂直骨切り術				
下顎枝矢状分割術				
オトガイ形成術				
下顎骨延長術				

【顎関節関連手術(C-3)】

顎関節脱臼非観血的整復術				b以上1例
パンピングマニピュレーション				c以上1例
関節腔内穿刺・洗浄				
顎関節脱臼観血的手術				

【癌病変関連手術・再建外科手術(D-1/D-2)】

組織生検(良性・悪性を問わない)				a以上1例
前癌病変切除術(白板症)				b以上1例
舌癌手術(部分切除術・半側切除術・全摘術)				b以上3例 + c以上3例
上顎歯肉癌手術(部分切除術・全摘術)				
下顎歯肉癌手術(辺縁切除術・区域切除術)				
粘膜腫瘍手術(頬粘膜・口底・口唇)				
頸部郭清術				c以上2例
有茎皮弁移植術				
遊離皮弁移植術				

【入院患者管理】

採血				a 5例
静脈路確保				a 10例
動脈血液ガス採取				c以上1例
血液培養検査				b以上1例
経鼻胃管挿入				a 3例
有病者歯科治療患者管理				a 3例
放射線化学療法患者管理				b以上2例
選択的動注化学療法患者管理				

研修レベルはa>b>cとし、必要症例数に指定している以上の研修に努めること。

## 兵庫医科大学卒業研修(歯科)評価表

研修医氏名:

指導医氏名:

研修期間: 202( )年( )月( )日 ~ 202( )年( )月( )日

指導医確認印(統括)

指導医確認印(歯科)

指導医確認印(口腔外科)

指導医確認印(病棟)

### 研修評価および研修修了の判定基準

A: 指示をすればその内容を理解し、自力で行える

B: 部分的に手伝えは行える。

C: 指示内容については理解しているが自力では行えない。

D: 指示内容を理解出来ない。

- 一般歯科関連および口腔外科関連のいずれの項目にも関わらずB以上を「修得」とし、C、Dを「未修得」とする。研修を修了するには全ての項目において「修得」でなければならぬ。
- 一般歯科関連の必須研修項目には修得しなければならぬケース数を設定している。研修を修了するにはこれらを満たさなければならない。
- 研修実技試験においては、いずれの項目においてもB以上を合格とする。上記全ての評価基準を満たした者を「**研修修了**」とする。

### 各科研修評価項目

(一般歯科)

研修評価項目

1. 保存修復治療

1-1 レジン充填が正しく行える(10例以上)

1-2 インレー修復が正しく行える(5例以上)

1-3 グラスアイオノマー充填が正しく行える(3例以上)

1-4 間接覆髄が的確に行える(2例以上)

2. 歯内療法

2-1 局所麻酔が的確に行える

2-2 歯科用X線撮影が的確に行える

2-3 歯科用X線写真が正しく読影できる

研修医自己評価

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

指導医熟度評価

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

A・B・C・D

2-4 抜髄処置が正しく行える(2例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
2-5 感染根管処置が正しく行える(3例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
<b>3. 歯周治療</b>		
3-1. ブラッシング指導が的確に行える(10例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
3-2. 咬合調整が的確に行える	A・B・C・D	A・B・C・D
3-3. 暫間固定が的確に行える	A・B・C・D	A・B・C・D
3-4 スケーリングが正しく行える	A・B・C・D	A・B・C・D
3-5 SRPが正しく行える(5例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
3-6 歯周ポケットの測定が正しく行える(5例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
<b>4. 歯冠修復治療</b>		
4-1 FCKの支台歯形成から冠装着までが正しく行える(2例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
4-2 前窓冠の支台歯形成から冠装着までが正しく行える(1例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
4-3 ブリッジの支台歯形成から装着までが正しく行える	A・B・C・D	A・B・C・D
4-4 支台築造が正しく行える(2例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
<b>5. 有床義歯による補綴治療</b>		
5-1 部分床義歯による補綴治療が的確に行える(1例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
5-2 全部床義歯による補綴治療が的確に行える(1例以上)	A・B・C・D	A・B・C・D
5-3 リベースが的確に行える	A・B・C・D	A・B・C・D
<b>(口腔外科)</b>		
<b>研修・評価項目</b>	<b>研修医自己評価</b>	<b>指導医熟度評価</b>
<b>1. 一般的な基礎知識</b>		
1-1. 口腔の機能と特徴が説明できる	A・B・C・D	A・B・C・D
1-2. 口腔に発生する疾患を分類して説明できる	A・B・C・D	A・B・C・D
1-3. 必要な解剖学的知識を身につけている。	A・B・C・D	A・B・C・D
<b>2. 診断</b>		
2-1. 症状に応じた適切な検査方法と手順を選択し、病態を把握できる	A・B・C・D	A・B・C・D
2-2. 症状の緊急性を的確に判断することが出来る	A・B・C・D	A・B・C・D
2-3. X線・CT・MRIの画像の特徴を理解し、読影することが出来る	A・B・C・D	A・B・C・D

<b>3.手術手技</b>			
3-1.適切な手術介助を行うことができる	A・B・C・D		A・B・C・D
3-2.粘膜骨膜弁を作成しない抜歯を20症例以上経験している	A・B・C・D		A・B・C・D
3-3.粘膜骨膜弁を形成する抜歯を10症例以上経験している	A・B・C・D		A・B・C・D
3-4.縫合法が適切に行うことができる	A・B・C・D		A・B・C・D
3-5.顎間固定術を行うことができる	A・B・C・D		A・B・C・D
3-6.口腔内消炎処置を行うことができる	A・B・C・D		A・B・C・D
3-7.手術器具の使用法について適切に理解し、操作できる	A・B・C・D		A・B・C・D
<b>4.治療法への理解</b>			
4-1.炎症患者を担当し、感染症治療の原則を理解している	A・B・C・D		A・B・C・D
4-2.嚢胞性疾患の患者を担当し、嚢胞の発生原因を説明できる	A・B・C・D		A・B・C・D
4-3.口腔粘膜疾患を有する患者を担当し、前癌病変における病理像や発癌率の差を理解している	A・B・C・D		A・B・C・D
4-4.口腔癌患者を担当し、病期診断が出来る	A・B・C・D		A・B・C・D
4-5.外傷患者を担当し、治療方針を作成できる	A・B・C・D		A・B・C・D
<b>5.カンファレンス</b>			
5-1.患者の術前情報を正確かつ的確に説明することが出来る	A・B・C・D		A・B・C・D
5-2.術前資料や検査結果を把握し、疾患治療における問題点を説明できる	A・B・C・D		A・B・C・D
5-3.治療方針や術式を説明することが出来る	A・B・C・D		A・B・C・D
5-4.他科への紹介の際に適切な紹介状を書くことが出来る	A・B・C・D		A・B・C・D
5-5.手術記録を正確に作成することが出来る	A・B・C・D		A・B・C・D
<b>6.学会活動</b>			
6-1.口腔外科学会近畿地方会などの学術集会で症例報告が出来る	A・B・C・D		A・B・C・D
<b>7.その他</b>			
7-1.BLSを受講し、実践できる	A・B・C・D		A・B・C・D
7-2.カルテにおける適切な記載法を理解し、サマリーや診断書の作成が出来る	A・B・C・D		A・B・C・D
7-3.患者の心理状態を理解し、家族を含めた人道的配慮を行う	A・B・C・D		A・B・C・D
7-4.治療や経過におけるインフォームドコンセントを行うことが出来る	A・B・C・D		A・B・C・D